

新幹線プレス

2017年1月26日

No.334

発行者 成田 隆 浩

編集者 教 宣 部

J R 東海 労 新 幹 線 地 本

「ボーナスカット裁判に勝利しよう！」 #27

3月29日、いよいよ判決！

1月25日、第7回口頭弁論が開催され結審しました。

判決は3月29日13時10分よりと決定しました。

私たちは既にボーナスカット者ゼロを勝ち取りました。裁判の勝利も確信して最後まで闘おう！！

ボーナスカットはJR東海労の運動を拡大させないための対策だ！

裁判長：あなたに対する今回の減率適用というものは、JR東海労働組合の運動に対する被告側の対策の1つだというふうにはあなたは考えておられるということですか。

成 田：その通りです。JR東海労働組合の運動を拡大させない、縮小させるという目的のために、こういうことをやってきているというふうに私は思っています。（第6回口頭弁論調書より）

労働組合がしっかりしないと会社は良くならない！

裁判長：主尋問の最後に、言っておきたいことはありますか。

成 田：ボーナスカット攻撃で、私たちの組合を縮小化させる攻撃ということは、今なお続いているわけですが、私たちはそれに対してしっかり闘いをつくっていくということで、労働者の利益を守りたいなというふうに思っています。

今日も多くの人達が傍聴に来てくれています。その傍聴は現役だけでなく、OBの方々まで来てくれているんです。ですから、先輩達もこのJR東海の行く末をしっかりと、ちゃんとしたものにしたいというふうな思いがあって、こういうふうに来てくれているんだというふうに思います。そういう意味で、労働組合がしっかりしていないと、私は会社が良くならないというふうに思いますので、この裁判を通じて、そういうことをしっかりと訴えていきたいなというふうに私は思っています。

（第6回口頭弁論調書より）

3月29日は勝利を確信して最大結集しよう！！